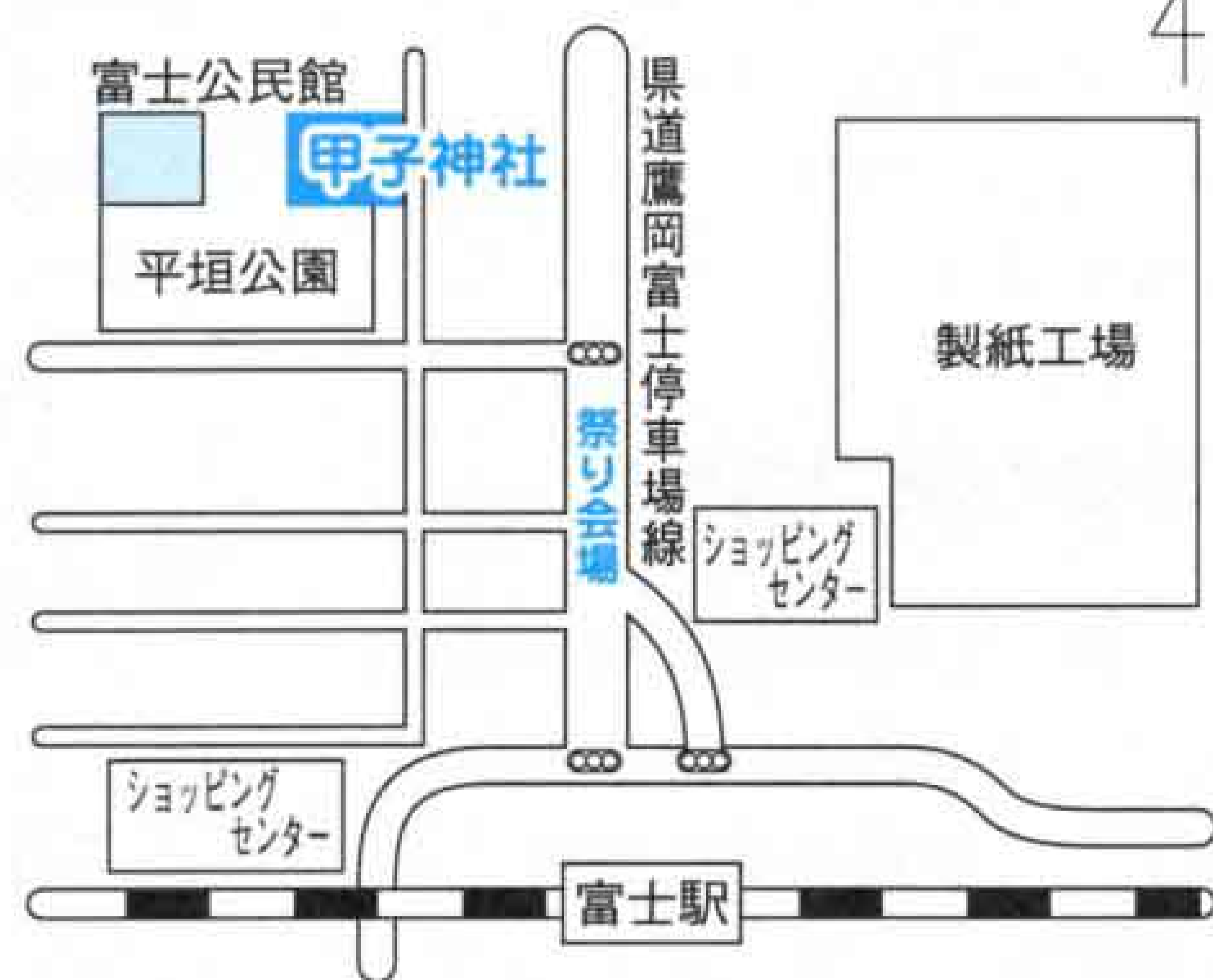


# ふ じ きのえ ね ば や し 富士甲子囃子



第3回



甲子祭 8月4日(土)・5日(日)

甲子囃子は、加島村当時の青年団が、伊勢神宮神嘗祭かんなめさいのとき、十月十七日・十八日の両日はやしたものが発祥です。

太鼓の曲は、小田原・三島・吉原・今泉・加島と伝わった小田原ばやしでした。大正八年に富士宮の太鼓が加わり現在の富士甲子囃子が誕生しました。

大正十五年には、『富士本町に氏神様を』との村人たちの機運が高まり、『村の発展も』と願って、大黒様を祀ることに決まりました。村の代表者が出雲大社に参拝し、大黒様の御神体をいただき、現在の富士公民館東側に甲子神社を建立し鎮座しました。これを機に、本格的な屋台をつくり、本町、仲町（現在の富士町）共同で引き回すこととし、祭典日も八月四日・五日に決めました。

その後も、富士甲子囃子保存会が伝統を守りながら後継者の育成を図り、祭りを盛り上げています。

現在は、祭典日を八月第一土・日曜日に変更していますが、祭典日が八月四日以降になる場合でも、神事などは四日に行っています。

以前は、本町周辺に住む人しか会員になれませんでした。現在は、富士地区を中心に他地区からの会員も募集しています。

この囃子を通して、他地区にも太鼓の輪ができてくれたらうれしいですね。

富士甲子囃子保存会は昭和四十七年に発足しました。私にとって甲子囃子は、父親が太鼓をたたいていたので、子どものころからごく自然に携わっていたという感じでした。

平成二年には保存会の若者たちで、保存会の下部組織となる壱番會いちばんかいを結成し、現在は壱番會が中心となって太鼓をたたいています。この年の甲子祭が無事に終わったときは、仲間全員達成感で思わず涙が出ましたね。



富士甲子囃子保存会  
会長  
望月 隆男さん (富士町)

## こちら編集室

先日、初めてフライングディスクをやりました。見た目にはとても軽そうで、投げるのも簡単そうに見えるディスクですが、実際に持ってみると意外と大きくて重いものです。

持ち方や投げ方にもいろいろあ

り、初めはうまく飛ばせませんでした。しかし、コツを覚えてくると、数回に1回くらいはきれいに遠くまで飛ばせるようになるまで上達。ボールが苦手な私にもできるスポーツが、また一つふえました。皆さんもいかがですか。

人口 241,228人 (前月比+247)  
男 120,154人 (+148)  
女 121,074人 (+99)  
世帯 82,030世帯 (+198) 6月1日現在  
編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎51-0123(代) ㊚51-1456

